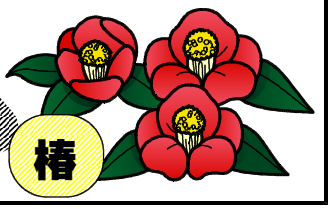
令和４年度　小中野小学校　学校だより　第１２号　　令和５年２月２８日

ちぐさ咲く　みち



予測不可能なこれからの社会を生き抜くために身につけたい ４つの力

校長　花生　典幸

２月９日（木）は，６年生の子どもたちにとって，とても有意義な日になりました。

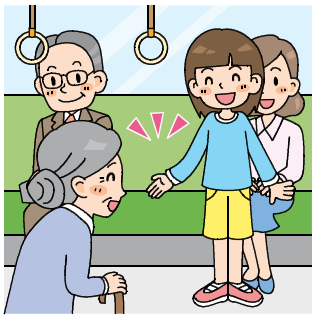
大阪にある「大空小学校」というところで，長く校長先生を務められていた木村泰子先生が，６年生対象の「特別授業」を行うために，来校してくださったからです。本校が教育活動の柱の一つとして取り組んでいる「キャリア教育」の一環です。

「大空小学校」での木村先生の学校づくりの実践は，これまで映画やテレビ番組でも多く取り上げられていますので，ご存じの方もいらっしゃるかもしれません。

木村先生は，約一時間にわたって，子どもたちに**「どんな大人になりたいですか？」**というテーマのもと，問いかけては考えさせたり，自分の思いや意見を発表させたりしながら，熱い授業を繰り広げてくださいました。

そのお話の中で，木村先生が挙げられたのが，標題に掲げた**「予測不可能なこれからの社会を生き抜くために身につけたい4つの力」**です。

「人を大切にする力」
「自分の考えをもつ力」
「自分を表現する力」
「チャレンジする力」



木村先生と６年生の子どもたちのやりとりを見ながら，わたしは驚きに目を見張りながら，同時に感動して涙をこらえていました。

先生の授業の進め方は，お見事！の一言に尽きるのですが，その先生の投げかけに応答する子どもたちの発言や態度が，なににも増して素晴らしかったからです。

初対面の人に物怖じすることなく，先生からの指名を待たずに，自分から立ち上がって，堂々と意見を述べる。それを受けて，別の子どもがすぐに言葉を重ねていく……壮観でした。「長い教員生活の中にあってさえ，こんな子どもたち，見たことない」……そんな思いが，ずっと頭の中を駆け巡っていました。

校長室に戻った後で，木村先生は，わたしに「いつもなら，わたしの方から４つの力を出して，具体的な場面を考えさせたりするのだけれど，今日は子どもたちが全部自分たちで出してくれました。こんな経験，わたしも初めてです。あの子たち，よく育っていますね」とおっしゃいました。

これからの未来社会を生きていくために大事な**4つの力**を本校の６年生たちは着実に自分のものにしつつある……こんなにうれしい褒め言葉はありませんでした。二人の学級担任（佐々木先生・小杉先生）のこれまでの指導に，心からの感謝を覚え，頭が下がりました。わたし自身にとっても，大きな発見のあった有意義な一日になりました。